

天皇陛下御在位30年記念式典 伊達参議院議長祝辞

於 国立劇場

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、天皇陛下御在位30年記念式典が盛大に執り行われるに当たり、謹んでお祝いの言葉を申し上げます。

この30年を顧みれば、陛下は、即位の際に宣明されましたとおり「日本国及び日本国民統合の象徴」として、我が国の平和と安寧のために、全身全霊で数多ある御公務に精励されてこられました。象徴として歩まれてこられたこの長い道のりを、陛下は「旅」に例えられましたが、その「旅」のお側には、常に皇后陛下のお姿があり、両陛下は、二人三脚で、いついかなる時も、あまねく全ての国民に寄り添われてこられたのです。

とりわけ、東日本大震災を始めとする大規模災害が起これば、率先して被災地を訪問され、人々の負った心身の傷を、我がことのように受け止め、時には膝をつかれて、住民と同じ目線に立って、被災者を励ましてこられました。こうした両陛下のお姿に、私たち国民は、深い敬慕の念を抱いてまいりました。

そして何より、この平成の御代において意義深いことは、我が国が戦争のない平和な時代を過ごしたことでありましょう。平和を願い、戦争の悲惨な歴史に真摯に向き合い続けてこられた両陛下は、国内外にわたる戦跡地への慰霊に、心を込めて取り組まれ、戦争の記憶を継承する大切さを体現してこられました。私たちは、この先の時代も、両陛下が持ち続けてこられた平和と非戦への強い願いを心に刻み、平和国家として、世界の平和と人類の幸福のために責任を果たしてまいる所存です。

間もなく天皇陛下の御退位と皇太子殿下の御即位という新たな歴史の節目を迎えます。皇位継承が、国民の祝意の中でつつがなく行われますことを衷心よりお祈り申し上げます。

御在位30年を寿ぐこの佳き日に当たり、天皇皇后両陛下のますますの御健勝と皇室の弥栄を心より祈念し、お祝いの言葉といたします。

平成31年2月24日

参議院議長 伊 達 忠 一